

## ふれあい記録

実施日：平成 30 年 7 月 18 日（一日目）

当番者名 根本 邦子 神谷 順子

コース名：独自コース 61 番「黒斑山と水の塔山～籠の塔山」

（通し番号 第 143 回）

天 候： 晴れ

参加者名：相川 勲、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、熊谷 信雄、柴崎 幸治、西村 寿文  
根本 邦子、船橋 エイ子、細矢 清志、堀井 克子、

計 11 名（内、男性 7 名 女性 4 名）（五十音順）

交 通（時刻）：＜集合＞JR 東京駅 23 番線北陸新幹線ホーム 午前 6 時 45 分

東京駅 6:52(あさま 601 号)発⇒8:18 着 佐久平 8:35 発(バス)⇒9:35 着 高峰温泉

高峰温泉(ランプの宿)(宿のバス)10:03 発⇒車坂峠 10:10 着

コースタイム（時刻）：車坂峠 10:10 発⇒避難小屋（シェルター）11:55（昼食～12:25）⇒槍ヶ鞘  
12:30 分⇒トーミの頭 12:48⇒黒斑山山頂 13:08 着（オレンジタイム）13:30 下山⇒中コ  
ース分岐 14:06⇒車坂峠 15:37⇒高峰温泉 16:25 着。

みどころ：

- ① 車坂峠登山口付近ニッコウキスゲ（禅庭花）の大群落が黄色の絨毯を敷き詰めた様だった。
- ② 浅間山の風景を楽しめる表コースを登山開始、登山道の路肩は多種多様な高山植物の花が咲いていた。
- ③ ガレ場や樹高の低い登山道からは八ヶ岳やアルプスが見えた。
- ④ 避難小屋を過ぎた槍ヶ鞘から山頂まで雄大な浅間山の姿を見ながら登る。
- ⑤ ゴツゴツした溶岩で出来たトーミの頭に立った時は、浅間山の雄姿が目の前に広がり山頂を踏破した様な気分になった。

自然観察：

高山植物の花々・・・ニッコウキスゲ・ツリガネニンジン・コユウガキク・ゴゼンタチバナ・クルマユリ・ヤマオダマキ・ヤマブキシヨウマ・コバノトンボソウ・シモツケソウ・ウスユキソウ・マルバタケブキ・ヤマハハコ・タケニグサ・コバイケイソウ・オタカラコウ・ホタルブクロ・ヤナギラン・シシウド・ウツギ・ギンリョウソウ・レンゲツツジ・山頂近くにハクサンシャクナゲ。

特記事項：

- ① 一日の活動距離 6.8 km 高低差 447m 累積標高 上り 520m 下り 526m
- ② 計画では佐久平からバス、車坂峠で下車して登山の予定を変更、終点の高峰温泉迄行き宿に一部荷物を置き車坂峠まで送ってもらいスタートする荷が軽くなり身体への負担を軽減できた。
- ③ 表コースの避難小屋まで、木の階段が途中崩壊している所が有り坂を登るよりきつかった。
- ④ 下山の中コース帰路、脚力に自信の有る若手 3 人は足を延ばして高峰山山頂迄行く。3 人の宿着は 16:50。

## ふれあい記録

実施日：平成 30 年 7 月 19 日（二日目）

当番者名 根本 邦子 神谷 順子

コース名：独自コース 61 番「黒斑山と水の塔山～籠の塔山」 (通し番号 第 143 回)

天 候： 晴れ時々曇り

参加者名：相川 勲、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、熊谷 信雄、柴崎 幸治、西村 寿文  
根本 邦子、船橋 エイ子、細矢 清志、堀井 克子、  
計 11 名（内、男性 7 名 女性 4 名）（五十音順）

交 通（時刻）：高峰温泉宿をバスで 9:00 発⇒池の平 9:20 着  
<復路>高峰温泉 16:17(バス)発⇒17:20 分着 佐久平駅 17:57(はくたか 570 号) 発  
19:12 着東京駅。

コースタイム（時刻）：池の平 9:25 スタート⇒池の平三方歩道を経由して三方ヶ峰へ、  
三方コマクサ園見学し、アヤメ東歩道経由し池の平駐車場に 10:45 戻る。  
東籠の塔登山口 11:05 スタート⇒東籠の塔山頂 11:40(昼食)12:15⇒水の塔山  
13:10⇒高峰温泉 14:25 着。

みどころ：

- ① 池の平湿原は貴重な高山植物の宝庫、丁度花の時期も良く沢山の花々に出会えた。
- ② 三方コマクサ園迄行き「コマクサ」の群生を見ることが出来た。
- ③ 籠の塔山頂は 360° の展望で北に日光白根や南に八ヶ岳が見える。

自然観察：

池の平湿原の高山植物・・・アヤメ・ノハナショウブ・フウロ・コマクサ・イチヤクソウ・ヤナギラン・ヤマニガナ・シロバナニガナ・ネバリノギラン・マツムシソウ・コバノオトギリ・タイム・コキンレイカ・ヒヨドリソウ・カワラナデシコ・カラマツソウ・シナノオトギリソウ・ウツボグサ・キバナオダマキ・ハンゴンソウ・オヤマソバ・ノアザミ・吾亦紅・オオバギボウシ。  
野鳥観察会・・・キジバト・キセキレイ。 蝶々・・・ヒョウモンチョウ。 蜻蛉・・・アキアカネ。

特記事項：

- ① 一日の活動距離 6.6 km 高低差 276m 累積標高 上り 416m 下り 504m 。
- ② 計画では水の塔山、籠の塔山を経て池の平湿原を予定したが林道歩きは暑さと砂利道の為、宿のガイド付き自然観察バスに乗り池の平から籠の塔山～水の塔山に変更。
- ③ 高峰温泉はランプの宿(標高 2000m)として知られ雲上の露天風呂は素晴らしかった。宿では自然観察会や野鳥の教室、星の観察等のプログラムがあった。星の観察や、又出発前には野鳥の教室に参加した。
- ④ 高峰温泉宿の玄関口は長野県と群馬県の県境だった。
- ⑤ 宿の料理にマタタビ・カルイザワソウ等珍しい山菜の天ぷらを味わった。
- ⑥ 宿の対応も大変良かった。